



市長日記

防火への決意新たに

総合文化ホールアルテピアで開催した安来市消防出初式の式典に出席し、消防職員と消防団員の前で式辞を述べました。

その後、会場を安来港に移し、消防車両29台による一斉放水を行いました。消防職員とともに消火活動で地域防災を支える消防団員。団員らの機敏な行動に、市民の安心安全を守る使命感を感じることができました。



◀新型コロナウイルス感染拡大の影響で3年ぶりに開催しました(1月8日)。



まちの話題や
出来事を
紹介します

たうんとぴっくす

TOWN TOPICS

今月の1枚



市内小中学校の特別支援学級の子どもたちの作品展「ふれあい広場」が開催されました。子どもたちの意欲向上と周囲の理解につなげるため始まったこの作品展。日々の学習で製作した絵や工作など、今年は669点もの作品が展示されました。 1月27日～30日：アルテピア



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。



▲母里小学校5年生による「母里っこ太鼓」。総合的な学習の時間での練習の成果を発表しました。

江戸から続く伝統の市

「母里市やまんば祭」が12月25日に母里交流センター周辺で行われました。母里藩の時代から続くこの伝統行事は、藩の役人が山姥の扮装をさせた老婆にお金を配らせ、町をにぎわせたことが始まりとされており、当日は、餅やしめ縄、地元の農産物などを買い求める人たちが活気づいていました。

今回の山姥役は2人。ボランティアで参加した田邊淳也さんは、初めての山姥役に「幼い子どもには怖がられてしまいましたが、面白い経験ができました」と話していました。

安来市加納美術館で1月11日～3月26日の間、市内の交流センターや小中学校などが所蔵する作品を展示する「安来ゆかりの美術家たち2」を開催しています。今回の企画展では、前回展示できなかった作品に加え、安来を題材にした市外出身作家の作品も展示。特に山中鹿介を題材とした作品は多くあり、特集コーナーも設けられています。

企画展初日のギャラリーツアーに参加した中西千尋さんは「なかなか見られない施設の作品を鑑賞でき、貴重な体験となりました」と話していました。



▲作者や題材について詳しい説明を聞きつつ作品を鑑賞する参加者。解説は千葉館長(右)。

市内の美術品大集合





ペアで魅せるダンス

▲スタンダード種目を踊る江田さん（右）と細田さん（左）。ワルツやタンゴなどがあります。

優雅さが特徴のスタンダード5種目と自由で情熱的なラテン5種目の計10種目を競う、社交ダンスの大会「全日本ジュニア10ダンス選手権」が1月8日に京都府立伏見港公園体育館で行われました。

全国第3位を獲得したのは、日本ダンススポーツ連盟（JDSF）の強化選手で、BALL HALL（新十神町）に所属する江田煌也さん（13歳）と細田琉永さん（13歳）のペア。10種目の内、4種目で第1位という好成績を残しました。2人は「より観客を魅了するダンスを目指したい」と話していました。

1月21日、22日に宇賀荘交流センターで「第20回寒の椿展」が開催され、宇賀荘花木の会で育てた寒椿の展示、椿油や椿クリームの販売が行われました。訪れた人は、色や大きさなどさまざまなツバキを1鉢1鉢じっくりと観賞していました。

また20回の節目を記念して、9種160株のツバキの苗木が希望者へ配布されました。「展示を見て侘助という品種が特に目を引きました」と話していた来場者には、ピンクの花弁が特徴の数奇屋侘助の苗木がプレゼントされていました。



冬を彩る寒椿

▲約80種、120鉢のツバキが会場を華やかに飾りました。

1月9日にアルテピアで、安来節保存会が主催する「唄い初め会」が開催されました。

会では、准名人2人と大師範17人の計19人に上位昇格者免状授与が行われ、その後、支部ごとに3人・14組が唄、絃（三味線）、鼓の技能を競い、観覧者の耳や目を楽しませました。

令和5年に唄の准名人に昇格した広島東支部の山本英三さんは「准名人としての責任の重さを感じています。支部共々研鑽し、安来節のさらなる発展につなげていきたいです」と話していました。



安来節で祝う初春

▲令和5年度上位昇格者も技能を披露。どじょう掬い踊りや銭太鼓の演目も行われました。



旬のユズで手作りポン酢

▲爽やかなユズの風味とだしの旨味がしっかり詰まった手作りポン酢ができあがりました。

さまざまな体験を通じて生涯学習につなげてもらおうと、大人の体験活動「ポン酢を作ろう」が1月15日に赤江交流センターで行われました。

地域で活動する加工クラブのスタッフの手ほどきを受けながら、参加者10人はユズを丸ごと使ってポン酢、マーマレード、ユズ味噌を作っていました。旬のユズ果汁100%で作るので、さっぱりとしたフレッシュな香りが会場を包んでいました。

二岡美佳さんは「出来上がりを持ち帰ることができ、家で味わうのが楽しみです」と話していました。

